

歴認研活動記録

歴史認識問題研究会・役員名簿（令和3年3月現在）

- 会長：西岡 力（モロロジー研究所教授・麗澤大学客員教授）
 副会長：高橋史朗（麗澤大学大学院特任教授・モロロジー研究所教授）
 同：江崎道朗（評論家）
 同：ジェイソン・モーガン（麗澤大学准教授）
 事務局長：勝岡寛次（明星大学戦後教育史研究センター）
 同次長：長谷亮介（歴史認識問題研究会研究員）
 監査：島田洋一（福井県立大学教授）
 顧問：伊藤 隆（東京大学名誉教授）
 同：櫻井よしこ（ジャーナリスト）
 同：田中英道（東北大学名誉教授）
 同：渡辺利夫（拓殖大学学事顧問・前総長）

歴認研活動履歴（令和2年9月以降）

令和2年（2020）

- 12月25日 日韓法律家共同声明1周年記念シンポジウム
 場所：衆議院第二議員会館第7会議室（東京）
 韓国側参加者：金基洙弁護士、李宇衍博士、柳錫春教授、李柱天教授
 日本側参加者：高池勝彦弁護士、岡島実弁護士、西岡力教授、高橋史朗教授
 会場参加者：田中英道東北大学名誉教授、荒木田修弁護士、
 勝岡寛次、長谷亮介（歴史認識問題研究会事務局）

令和3年（2021）

- 1月9日 慰安婦判決に抗議する歴認研声明
 1月26日 首相官邸にて、加藤勝信官房長官に「ソウル中央地方裁判所の慰安婦判決に抗議する日韓法律家・知識人共同声明」（以下「共同声明」と略）を手交
 2月1日 参議院議員会館にて、佐藤正久参議院議員・自由民主党外交部会長に共同声明を手交
 2月8日 「ジョン・マーク・ラムザイヤー教授を支持する公開書簡」を、『インターナショナル・レビュー・オブ・ロー・アンド・エコノミクス』（IRLE）編集委員会に送付

定期研究会開催記録（第60回～第64回）

回	日時	講師（肩書）	テーマ
60	2.9.25	加藤康子（産業遺産情報センター長） 中村陽一（元端島住民）	産業遺産情報センター（新宿区若松町）の見学と兼ねて、研究会を開催。
61	2.10.23	島田洋一（福井県立大学教授） 長谷亮介（歴史認識問題研究会研究員）	アメリカの「冷内戦」(Cold Civil War) 炭鉱における朝鮮人戦時労働者の労働待遇を考察する — 契約更新と補償を中心にして
62	2.11.27	伊藤哲夫（日本政策研究センター代表） 宮田昌明（一燈園資料館「香倉院」職員）	五箇条の御誓文の真実を考える 拙著『満州事変』の試み
63	2.12.18	高橋史朗（麗澤大学大学院特任教授・ モラロジー研究所教授） 椎谷哲夫（元東京新聞（中日新聞社） 編集委員）	日本学術会議報告と学習指導要領の問題点—歴史・道徳教育を中心に 戦後日本の産業用大麻の歴史と現状—占領政策の呪縛に抗して
64	3.1.22	筒井正夫（滋賀大学名誉教授） 阿羅健一（近現代史研究家）	「士魂商才」の精神に学び、日本再生を ユネスコの世界遺産に登録された南京事件について
65	3.2.26	島田洋一（福井県立大学教授） 久野潤（大阪観光大学専任講師）	国際司法裁判所でのドイツ「勝訴」と慰安婦問題 戦没者「慰霊」「顕彰」についての史的考察